

山行報告書

山行管理部

例会 河内飯盛山 7月27日

L 佐内・森本・長野 46名

京橋 9:29→9:47 忍ヶ丘 10:00・・・10:20 國中神社 10:40・・・10:55 御机神社
11:00・・・11:30 登山口・・・楠公寺・白龍大明神・・・12:20 飯盛山（かき氷・
昼食）13:20・・・野崎城址・・・野崎観音・・・野崎まいり公園(解散) 14:45
定井夫妻のご好意で飯盛山山頂でのサプライズ「かき氷」を計画していましたが、
御机神社をスタートする頃に雨が降り出して心配しましたが、登山口に掛かる頃には
上がり山頂で「かき氷」を美味しく頂きました。午後のスタートのころ、また少し
降り出しましたが間もなく上がりました。2回の雨で気温も下がり、この時期に
しては涼しい山行となりました。 (佐内 記)

タ〜ブル 奥山・雨山 7月20日

L 市井・岸本 22名

難波 8 : 15 ~ 泉佐野 8 : 43 BS 9 : 08 ~ 土丸 9 : 30 ~
春日神社 9 : 40 ~ 土丸城跡 11 : 00 ~ 雨山 11 : 20 - 12 : 00 ~
上永楽池 14 : 00 ~ 永楽ダム 14 : 30 ~ 大体大前 15 : 10 ~ 天王寺

梅雨明け天候が良すぎる位、Iさんの案内で春日神社では、厳かな気分に入れ
木陰を進みすぐに急登になり、城跡・雨山では昼食を取り展望が楽しめた。
雨山からの尾根伝い露岩や階段が多く展望台までの時間がなく下山しました。
暑い・暑い・と言いながらお疲れ様でした。 (岸本 記)

土曜山行 三国山 8月9日

L 原・願野

台風の影響で中止になりました。

リーダーをしていて毎回思うのですが1週間前ぐらいからお天気が気になり毎日
のように確認今回は台風が近畿方面に接近との事、もっと速度をあげて通かしてく
れないか祈っていましたが其のいかいもなさそうなので7日にサブリーダーと相談
のうえ中止としました。

バスをチャーターしていますのでキャンセルの交渉、会長、部長、参加者さんへの連絡、掲示板への書き込み、いろいろ大変でした。

○ 山行、中止の場合のマニュアルてありましたけ～。(原 記)

有志山行 鋸岳・甲斐駒ヶ岳 7月31日～8月3日

L 木村(順)・高桑・高山 3名

7/31(木) 20:00 大阪 = 22:00 多賀 S.A = 8/1 2:00 戸台駐車場

8/1 (金) 5:20 戸台駐車場 — 8:00 角兵衛沢 — 10:30 大岩 11:10 — 13:40 角兵衛沢コル 13:55 — 14:20 鋸岳 14:40 — 14:50 鎖場 15:20 — 18:40 第2 高点 — 19:30 中ノ川乗越 (テント泊)

8/2 (土) 6:30 中ノ川乗越 — 7:30 烏帽子 分岐 — 8:30 六合石室 9:10 — 11:30 駒ヶ岳 11:45 — 13:05 駒津峰 — 13:45 双児山 — 15:20 北沢峠 16:10 — 16:30 長衛小屋テント場 (テント泊)

8/3 (日) 6:20 テント場 — 6:40 北沢峠 7:10 = 7:40 戸台大橋 — 7:55 戸台駐車場 = 16:00 大阪

初日の登りでルートが不明確な時、その日に会った唯一のおじさんが下ってきて、コースを正すことができた。が、大ギャップで迷い2時間以上のロス、結果テント設営が20時になり全員食欲が無く、夕飯抜きで水の温存につながった。(その時は水不足になるとは思っていなかった)

下山後、荷物の整理時に大ギャップのルート図を持っていたのが発覚したが、これを忘れていたため水の節約ができた。六合目石室で水を補給する予定が、涸れていたため水不足になり、2ℓの水を3人で分けるが、駒ヶ岳からの天候は雨で気温が下がり、熱中症や脱水にならずに北沢峠へ到着後の生ビールは格別旨かった。(高桑氏談) 入山後2番目にすれ違った方達と2日後に戸台大橋で偶然に出会い、お互いの無事を確認することで喜びあった。仙丈は、天候もあまり良くないこともあり、疲労や翌日の仕事を考慮し中止した。(木村順 記)

有志山行 秋田駒ヶ岳・乳頭山 7月26日～7月29日

L八木・風戸・田中（志峰会）・上枝 4名

7月26日（土）夜、夜行バスで出発

7月27日（日）雨 秋田駒ヶ岳8合目登山口 12:20～秋田駒ヶ岳 13:30～秋田駒ヶ岳8合目登山口 14:40

7月28日（月）曇り時々晴れ 休暇村 8:00～孫六温泉登山口 8:25～10:25
田代岱分岐 10:40～11:25 乳頭山 11:40～12:50 千沼ヶ原分岐 13:00～
平ヶ倉沼 15:00～熱交換所登山口 16:25

7月29日（火）晴れ 犬倉山はリフトが土曜、日曜だけ運転だけなので
周辺散策

秋田駒ヶ岳の山頂付近は雨と風で吹き飛ばされそうでした。

無理をせず同じ道を引き返す。木道の周辺の花は綺麗でした。

孫六温泉から登ったのですが整備されてなく、昨日の雨で足元が悪く登りにくかった。
田代岱湿原からはお花が一杯で眺めもよく気持ちよく歩けた。

千沼ヶ原は尾瀬を小さくした様な所で木道の両側は沢山の花と地塘があり、いつまでも居たい所でした。平ヶ倉沼分岐まではガレバと悪路で歩きにくく疲れた。タクシーが来ておらず、携帯も繋がらず困った。地元の方に休暇村まで送ってもらった反省 東北の山は目印も余りなく、人も少ない、コースタイムも速いように思う。分岐がコースタイムの時間で無く不安になった。下準備の必要を感じた。

（上枝 記）

有志山行 燕岳 8月3日～8月6日 L吉川・杉谷 3名

8/3（日）晴れ 阪急高速バス発 8:00＝穂高着＝14:36＝タクシー
しゃくなげ荘（泊）

8/4（月）晴れ 石楠花荘発タクシー6:00＝燕岳登山口発 7:30—合戦小屋着
11:20 合戦小屋発 12:20—燕山荘着 14:00

8/5（火）曇り 燕山荘発 7:00—燕岳頂上に向かったが途中ガスで引き返す。
燕山荘発下山 8:00—合戦小屋 9:10—燕岳登山口 12:30
有明荘着 12:45（泊）

8/6（水）晴れ 有明荘発タクシーJR穂高発 11:20—阪急バス松本発 15:00

—梅田着 20 : 42

燕岳に3名で登りました。この山は合戦小屋までが勝負と思い登った。小屋に着くとヤッターと思い、西瓜を2切れも食べてしまった。合戦の頭からは有明山や餓鬼岳等に見とれてしばし、休憩。ここからは高山植物の宝庫ですが、わたしたちの近くに台湾ツアーのガイドさんがいらしたので、お花の名前を教わり歩いて行くと、燕山荘がガスに見え隠れして、まるで天空のお城のように見えました。あーよく来たもんやねーと思い自分なりに感心した。3回登り3回共、オーナーのアルプホルンを聞く事ができ、ついているねーと思いました。翌朝はあいにくのお天気で燕岳山頂は途中引き返しましたが、コマクサの群生を、カメラに収めて下山。来年も来ようね！と言われたが、道祖神巡りなら付き合いますヨ、と行って解散。トレーニング時からのご協力有難うございました。(吉川 記)

有志山行 北アルプス裏銀座コース前半 7月30日～8月2日 井(単独)

7月30日 高瀬ダム(7:10)→ブナ立尾根→(12:20)烏帽子小屋(13:20)→烏帽子岳→
烏帽子小屋 泊(15:05)

7月31日 烏帽子小屋(6:00)気温 10℃→野口五郎岳(9:55)→(13:00)水晶小屋
(13:50)→(14:35)水晶岳(15:05)→水晶小屋泊(16:00)

8月1日 水晶小屋(6:00)→鷲羽岳→(9:50)水晶小屋(10:10)→竹村新道分岐(13:30)
→野口五郎小屋泊(14:30)気温 20℃

8月2日 野口五郎小屋(6:05)→竹村新道分岐(7:15)→湯俣岳→(12:10)
湯俣温泉晴嵐荘(13:45)→高瀬ダム(16:45)

コースの重なった土曜山行有志5人の方・読売新道踏破の健脚チームとは、水晶岳で合流でき、翌日の鷲羽岳まで同行させて頂きました。

竹村新道について、野口五郎小屋で遭対協の人に危険箇所を聞いた所、人も沢山入っていて、心配はない。上部でザレ場に注意とのこと。下ってみると上部でロープを何か所か引いていて、当該箇所は少し足を取られたが、落差もそれ程なく、大した不安はなかった。

湯俣温泉の少し上の展望台からの槍ヶ岳北鎌尾根は圧巻でした。独標もクッキリ。湯俣温泉噴湯丘の手前、川原の露天風呂は、先客が適温の湯船を作ってくれていて、硫黄の匂いの中、気持ち良く、汗を流しました(女子には進められませんが)。この場所が、かの加藤文太郎や松濤明が、槍を目指したゲートウェイと思うと、感慨も

ひとしお。

高山で見た鳥(肉眼) ライチョウ(親子連れ5、野口五郎岳頂上付近)、アマツバメ(多数)、イワヒバリ(多数)、ホシガラス(1)。 (井 記)

有志山行 五竜岳 8月4日～8月5日 井(単独)

8月4日 テレキャビン・アルプス平駅(展望リフト降り場)(8:05)、ガスがかかり見通し約80m →小遠見山(9:25)、曇り→大遠見山(10:50)、相変わらずガス。 気温 22℃→(13:30)五竜山荘(14:18)→五竜岳(15:20)気温 15℃→五竜山荘泊(16:22)

8月5日 五竜山荘(6:00)曇り、風やや有り、気温 15℃→小遠見山(8:52)→テレキャビン・アルプス平駅(展望リフト乗場)(10:03)

初日、下の駐車場から山の頂上の方を見上げると厚い雲。天候を心配しましたが、どうにか雨に降られずすみしました。しかし、五竜岳は2日とも雲の中でした。上部で遭対協の注意喚起の黄色看板有。『ここから細尾根 荒れ道 足元注意 ザレ場 クサリ場 よそ見 踏み外し 足元確認 北アルプス北部遭対協』。約1時間歩くと同じ看板有。この間は、注意喚起通りに従うこと要。ただ、尾根歩きが長いので、看板以外の所でも左右のサイドに植物が付いていても、滑落の危険ないか、気を抜かずに見ながら歩く必要がありました。

高山で見た鳥(肉眼) ワシタカ類(SP、1、五竜山荘→五竜岳の途中で小動物を捕食中でした)。 (井 記)

有志山行 雨飾山 8月6日 井(単独)

8月6日 雨飾高原キャンプ場駐車場(5:25)曇り→ブナ平→荒菅沢(6:50)→笹平分岐→(8:55)雨飾山(9:30)曇り、気温 22℃→笹平分岐→荒菅沢→雨飾高原キャンプ場駐車場(12:35)

前日17時の天気予報では、長野北部、午前降水確率10%、午後50%、午後所により雷と激しい雨、とのこと。登山口駐車場から頂上の方を見ると厚い雲。早めの下山が無難と考え、予定より約1時間早めに出発した。

入山届ポスト横に人が少ない日の登山は、熊鈴持参下さい、とのこと。ザックに鈴

を着装した。

笹平で足の早い下山者 7 人位と行き違ったが、雨飾山頂はガスで何も見えず、早々と下りて来た、とのこと。しかし、私が登った時は一時的か、ガスも晴れ後立山北部、日本海、糸魚川市の街並、鋸岳など北部の山など眺望でき、又笹平のお花畑も楽しめラッキーでした。

遠くで、荒菅沢の雪溪を見て、軽アイゼン持参なくドキッとしたが、幅が約 30m 弱で斜度もなく、朝方で氷化していたが、ゆっくり進み通過できた(帰りは気温も上がり軟化)。上部のハシゴ 2 本も緩い傾斜の所で難なし。全体として歩き易いコースでした。

登山口の雨飾高原キャンプ場へ向かう途中の小谷村営雨飾荘下の同村営小谷温泉露天風呂は、湯量もそこそこ有り、勿論男女別・脱衣場も整備されていて「源泉かけ流し」のおススメの湯でした。入湯料は寸志となっていました。(井 記)

有志山行 赤牛岳・水晶岳・鷲羽岳・黒部五郎岳・薬師岳

7 月 28 日～8 月 3 日 L 乾・吉田(隆)・願野 会員 6 名

7 月 28 日(月) 大阪駅～富山駅移動

7 月 29 日(火) 富山駅 6:30 バスー室堂 9:30ー浄土山 10:50ーザラ峠
13:50ー五色ヶ原山荘 (泊)

7 月 30 日(水) 五色ヶ原山荘 5:40ー平ノ小屋 8:50ー平ノ渡場 10:00ー
奥黒部ヒュッテ 12:45 (泊)

7 月 31 日(木) 奥黒部ヒュッテ 4:00ー赤牛岳 10:30ー水晶岳 15:10
水晶小屋 16:00 (泊)

8 月 1 日(金) 小屋 6:00ーワリモ北分岐 6:30ー鷲羽岳 7:35ー三俣山荘
8:25～10:40ー三俣蓮華分岐 11:20ー双六小屋 13:20 3 名(泊)

8 月 2 日(土) 小屋 6:00ー鏡平 7:40ーワサビ小屋 10:05ー新穂高バスターミナル
11:20 バスー J R 高山駅ー J R 大阪駅 (3 名)

8 月 1 日(金) 三俣山荘 9:25ー三俣蓮華岳 10:35ー黒部五郎小舎 12:15
2 名(泊)

8 月 2 日(土) 小舎 5:00ー黒部五郎岳 7:15ー赤木岳 9:35ー北ノ俣岳 10:35ー分岐
10:45ー太郎小屋 12:00ー薬師岳山荘 14:10 (泊)

8 月 3 日(日) 山荘 3:45ー薬師岳 4:45ー山荘 5:30ー6:10ー太郎小屋 7:35ー五光岩
ベンチ 8:15ー折立 1030ー12:10 バスー J R 富山駅 14:00

—15:22 サンダーバードに乗車。

平ノ渡場で1名急用が生じて黒部ダム～松本駅へ。他5名は予定通り読売新道赤牛岳へ。コースは稜線に出る迄展望はなく樹林帯の中をひたすら登る。とにかく体力勝負。それあってご褒美として赤牛岳・水晶岳・鷲羽岳からの展望は360度。槍ヶ岳・穂高岳等、しんどいのも忘れて名だたる名山を堪能した。(山座同定も登山の楽しみ)

三俣山荘で3名は双六小屋へ。2名は黒部小舎へと別行動。薬師岳からの帰途宇野G達と6:30頃出会いました。この山行では天候に恵まれお花畑も随所にありました。花に興味のない私でもチングルマの名前を記憶容量の少ない頭に刻みました。

(吉田(隆) 記)

タ～ブル 京都トレイル北山東部コース 8月17日 L児玉・近澤

大雨(京都・大阪、大雨警報)の為、中止になりました。

金曜日ぐらいからピンポイントの集中豪雨が続きました。土曜日(16日)京都の福知山や北山方面の土砂崩壊のニュースが飛び込みネットで比叡山の天気を調べましたが、あまりよい天気状況ではありませんでした。

今回の登山口から比叡ケーブルまで2時間急斜面を登りますので豪雨等に遭遇すれば大変なことになり又終盤の川等の場所で立ち往生も困ります。

ターブルの主だった先輩や参加者にも問いかけた結果、独断ですがSLと合議の結果中止にしました。すぐに会長・参加者に電話連絡いたしました。

当日大阪は曇りのち薄晴れでした、内心山行決行したほうがよかったかな～？と落ち込んではいませんが、ハイキングは冒険ではありません、楽しいものだと思いますので、またチャンスを作って計画いたしますので当日参加表明下さった方以外もぜひ参加をお待ちいたします。

小さなトラブルが金曜日になり連絡不手際がありました。当日京橋駅で参集の2名の方又出町柳駅合流の1名の方ご連絡できませんでしたこと深くお詫びいたします。

(児玉 記)

有志山行 聖岳 8月12日～8月15日 L 木村(佐) 2名

8/12(火) 20:00 大阪 = /13 2:50 便ヶ島駐車場

8/13(水) 6:20 便ヶ島駐車場 — 7:20 西沢渡 — 10:20 苔平 — 12:00 薊畑
12:30 — 13:00 聖平(小屋泊)

8/14(木) 4:00 起床 4:30 朝食 6:00 聖平 — 6:30 薊畑 — 7:20 小聖岳 —
8:40 聖岳 — 9:15 奥聖岳 — 9:40 聖岳 — 10:40 小聖岳 — 11:30
薊畑 — 12:00 聖平(小屋泊)

8/15(金) 4:00 起床 4:30 朝食 5:40 聖平 — 6:00 薊畑 — 7:15 苔平 — 9:50
西沢渡 — 10:50 便ヶ島

南アルプスは交通の便が悪く、山小屋の間隔が長く計画を立てにくいので、ピストン山行を決める。同じ小屋に2泊というのは、他の人からみるともったいないと言われそうだが、結果的には身体の負担も少なく良かったと思う。

2日目の登頂の日は、あいにくの雨で視界はゼロ、予定では山頂で周りの山々を眺めるよう時間を取ったが、雨、風で早々に下山する。

西沢渡では、自力のロープウェイがあり腕力が必要。

お花畑が疲れを癒してくれた。(木村(佐) 記)

サロン 姫路城と黒田管兵衛の世界 7月21日 L 矢野 参加者17名

恒例の青春18キップの旅は、姫路城とNHK人気ドラマ黒田管兵衛のドラマ館の見学に行きました。駅を出ると再生真新しい姫路城が二つの天守を空高く聳えさせ、威厳を放ち心に迫るものがあります。管兵衛ドラマ館に入ると時代背景の人物紹介、管兵衛の婚礼の衣装、甲冑や家臣団、有岡城に囚われた土牢などと再現され、シアターには大勢のエキストラの仕事ぶりが面白く、ドラマの出来て行く様子を伺う事が出来ました。

大手門から入場するとスイッチが切り変わり武士の世界になる。野面積の石垣が迫り来る勢いでその迫力の美しさを感じる。百間廊下の座間を覗いたり仕切られた部屋を見学300メートルもの長い廊下を進み、化粧櫓とつづき千姫の過ごした部屋にくるとカルタ遊びをする千姫、10年もの歳月をこの櫓で過ごした姫様は辛い事だったでしょうね。城主が変わるごとに見事になつて来たお城は、本当に凄い宝物だなとつくづくおもいます。興味が尽きないのですが、三の丸広場の木陰でお

弁当食べながら一休みする。 大手門を出てお堀をめぐりながら好古園に着く。歴代藩主の住まいは、やはり、きわまり無く贅沢で見事な御屋敷です。四季ごとに美しさをます様に造られた庭園は、凄いねと溜息が出るばかりです。回遊する水の流れが私達を心地良い物にしてくれる。まだ浅い栗のイガに興じ話をしながら園を後にする。姫路の街は高いビルを建てず空を広くて、国宝を護ってくれてるのだらうなと思いました。

今は亡き堀口さんの好きだった、明石に途中下車、降りて魚棚に行き、お持ち込みOKの明石焼きのお店で反省会、暑さをものともせず、18時梅田に着きました。姫路でゆっくりと、お土産タイムを取れば良かったと思いました。 (宇野 記)